

NPO 特定非営利活動法人

埼玉森林サポータークラブ

コミュニケーション・ニュース

【令和6年7月1日 発行（季刊） VOL. 98】

「令和6年度通常総会開催」

6月8日（土）15時からさいたま市浦和コミュニティセンター第13集会室において「令和6年度通常総会」が、出席総数93名（当日27名、委任状66名）で開催されました。片野副会長の開会の言葉、霜觸会長の挨拶（下記のとおり）に続き議事へと進みました。議長は霜觸会長、事務局が別記の3議案を説明し審議の結果3議案ともに満場一致で承認されました。岡田副会長の閉会の言葉で終了しました。

なお、総会前の14時から、2005年に愛・地球博で公開された映像『日本は森の國』の第3話「神の木神の森」と第5話「森をつくる話」の研修をしました。また、総会終了後には懇親会も行われました。

（会長挨拶）

令和6年度、第23回の通常総会の開会にあたりまして、ご挨拶申し上げます。

日頃会員の皆様にはサポータークラブの活動にご理解と、ご協力を頂きありがとうございます。また、世話役の方々には事前のフィールドの状況調査、安全確認、作業計画や班編成の作成などにお骨折りを頂きありがとうございます。

そして、何よりも一年間大きな事故も無く推移できたことが良かったと思います。

活動状況の数字的などところは資料にある通りです。中止件数が昨年度より若干少なかったこともありますが計画数や活動回数が増加したことは、クラブ員の減少するなかでは中々の健闘ではないかと思えます。

さて、いよいよ全国植樹祭の埼玉県開催が来年に迫ってきました。この6月15日に県全体を盛り上げるイベントが開かれ、サポータークラブも出展をいたします。これからも何かと要請があろうかと思えます。今後、なかなか経験できない全県的なイベントですので皆様のご協力をお願いいたします。



新聞テレビでご承知の方も多とおもいますが、この6月からは新たに「森林環境税」が納税者一人年間千円を徴収されることになっております。

これからも益々森林の大切さを啓蒙して行くことも私達の大事な仕事になってゆくと思えます。その意味で、企業支援、学校支援、緑の募金活動などの社会活動を続けていかなければならないものだと考えます。

我々が消えても森は残ることを信じて明日からも頑張りましょう。

『議 事』

第1号議案：令和5年度事業報告及び決算について

事業報告・活動実績99回参加人数1,375人
決 算・経常収益 2,792,823円

【内訳：会費579,000円、寄付金451,280円、助成金等1,676,000円、その他収益86,543円】

経常費用 2,853,302円

【内訳：事業費2,427,038円、管理費426,264円】

前期繰越正味財産額 1,039,320円

当期正味財産増減額 △60,479円

次期繰越正味財産額 978,741円

第2号議案：令和6年度事業計画及び予算について

事業計画・活動計画回数 100回

予 算・経常収益 3,978,741円

経常費用 3,000,000円

前期繰越正味財産額 978,741円

当期正味財産増減額 0円

次期繰越正味財産額 978,741円

第3号議案：辞任に伴う補欠理事の選任について
辞任の理事・・・伊東喜尋

新任の理事・・・武藤光盛



活動記録 (2024年3月・4月・5月)

月日	曜日	フィールド	内容	参加数
3月2日	土曜日	鷹ノ巣の森	下草刈り	7
3月3日	日曜日	ときがわの森	間伐	12
3月10日	日曜日	ときがわの森	間伐	13
3月16日	土曜日	笠幡の森	間伐	10
3月17日	日曜日	越生ふれあいの里山	下草刈り・倒木整理	10
3月17日	土曜日	くるみ小屋	林内整理	10
3月23日	日曜日	寄居風布の森	間伐	12
3月24日	日曜日	緑の森博物館	間伐・除伐	16
3月31日	日曜日	黒山の森	間伐	7
4月7日	日曜日	ときがわの森	間伐・枝打ち	13
4月13日	土曜日	笠幡の森	倒木枝条整理・除伐・笹刈り	11
4月14日	日曜日	越生ふれあいの里山	間伐・除伐	22
4月16日	火曜日	浄国寺の森	伐採木の処理・支障木の整理	5
4月17日	水曜日	浄国寺の森	伐採木の処理・支障木の整理	3
4月18日	木曜日	浄国寺の森	伐採木の処理・支障木の整理	5
4月20日	土曜日	寄居風布の森	間伐	10
4月21日	日曜日	くるみ小屋	つる切・除伐	9
4月28日	日曜日	緑の森博物館	下草刈り	21
5月4日	土曜日	北朝霞駅前	緑の募金活動	9
5月5日	日曜日	ときがわの森	間伐・伐木研修	14
5月6日	月曜日	越生ふれあいの里山	オークネット準備	11
5月11日	土曜日	第1回理事会	理事会	19
5月12日	日曜日	越生ふれあいの里山	間伐・除伐	14
5月18日	土曜日	越生ふれあいの里山	オークネット活動支援	17
5月19日	日曜日	くるみ小屋	記念行事・くるみ工房作品展	15
5月19日	日曜日	高谷の森	下草刈り	7
5月24日	金曜日	東松島市矢本東 日遊協共生の森	日遊協活動支援(枝打ち)	6
5月25日	土曜日	仙台市田ノ神 日遊協共生の森	日遊協活動支援(下刈り・除伐)	6
5月25日	土曜日	鷹ノ巣の森	笹竹刈り	6
5月26日	日曜日	緑の森博物館	下草刈り	11

自然のたより(66) ナラ枯れ2

埼玉ではなく隣の山梨のナラ枯れの事例を紹介します。富士山の中腹にある大室山は貞観大噴火の際、溶岩流の直撃を逃れ、昔からの植生は温存されました。溶岩流が覆った周りは広く青木ヶ原樹海になりました。大室山の主要な樹木はブナ、ミズナラなどですが、近年はシカがこれらの実生を食害するので次世代のブナ科が育っていません。この山に「ミズナラの巨木」があり、何度か会いに行きました。直径は2mを越え、写真のように人物が小さく見えます。これが2018年ですが次に訪れた2021年は何と、全身包帯が巻かれていました。ナラ枯れです。おまけに猛毒のカエンタケも発生していました。そして、ついに2024年偶然にかけたNHKの「解体キングダム」という番組で最後の場面を見ることになりました。樹齢数百年、高さ28m、直径2mのミズナラの巨木がまさに伐採されるところです。重機が使えない場所なので人が登ってチェーンソーです。一体どんな凄腕なのかと思います。伐採後、このミズナラはまだ材としてかなりきれいで、工芸品の制作やウイスキーのたる造り、環境教育などへの活用を予定していると聞き嬉しくなりました。

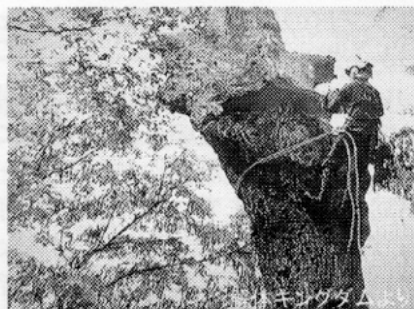
〈No. 647 賀登 環 川越市〉



ミズナラ巨木で一休み



カシナガ防除シートでぐるぐる巻き



NHK番組からの撮影

■4月13日(土) 川越市「笠幡の森」

12名の参加者があり、地主の山畑様の母屋付近の林地での作業でした。世話役の私小坂が左膝手術後であったため、霜触会長の作業指示で作業を行いました。動力参加者10名の内、8名は刈り払い機によるアズマネササ刈り、2名はチェーンソーによる倒木処理、手作業者1名は枝条整理で作業開始。当日は、天候に恵まれ、予定の作業を終了しました。なお、県道よりの林地については、地主の都合により、当分の間は作業を見合わせることにしました。作業終了後、地主の山畑様から、参加者全員に大きな竹の子を頂いた。大きすぎて硬いのではと思いましたが、帰宅後調理してみるとやわらくて美味しい竹の子でした。



〈No. 160 小坂博美 川越市〉

■4月20日(土) 寄居町「風布の森」

絶好のボランティア日和で、10名の参加で間伐作業が行われた。高速道路は下りが混んでいたとの参加者の話で、行楽に行かないで、家族サービスもしないで、参加していただき大変ありがたい。もう家族サービスも卒業したかと思いつつ、参加していただいた方々には感謝です。駐車場下のスギの15年生林も今回で6回目。1班5名は今ままで残った所や少々薄暗い所の間伐をし、2班5名はその下の新しいエリアの間伐を始めた。ここは初めての間伐で、太さも10センチ前後のスギが多く、手ノコで十分間伐できた。ちょうど山は新緑の時期で、緑になる前の、芽吹き始めの一時的にクリーム色に染まる時期が一番きれいであると思っている。

〈No. 522 岡田豊国 東松山市〉



■5月4日(土・祝) 北朝霞駅前での「緑の募金」活動

9名のサポーターが9時から11時過ぎまで「おはようございます。今日はみどりの日です。緑の募金に御協力ください。」と大きな声で協力をよびかけました。当日は快晴で28℃と5月として暑い日となりましたが行楽日和でした。家族連れや友達同士、子供達からお年寄りまでいろいろな方々に御協力いただき感謝いたします。集まった募金は22,300円でした。早速、埼玉県緑化推進委員会へお届けしました。今後、緑化活動に活用していただきます。

〈No. 719 玉熊英一 さいたま市〉



■5月18日(土) オークネットの活動



オークネット社の新入社員の間伐体験作業が、越生の駐車場奥で行われた。オークネットからは新入社員30人が参加し、各班6人ずつ5班に分かれ、サポータクラブからは各班2人と除伐班計17人が参加した。間伐作業は前回に続き1本ずつ順番に伐倒し、それぞれロープで引き倒す方法を取り、すべて安全に伐倒できました。サポータクラブの皆さん、大変お疲れ様でした。

〈No. 522 岡田豊国 東松山市〉

■5月19日(日)小川町「高谷」での活動

7名の参加で、曇り空の下、3班に分かれ作業が行われた。少々蒸し暑く、汗をかきながらの作業だった。植栽地・外周の灌木・モウソウダケの除伐さらに、作業に支障をきたす下枝うちを行い、そのあと通路の草刈りを実施した。途中でオオスズメバチが2か所で確認されたため一部作業が残ってしまった。モウソウダケはまだ伸び始めたばかりだったが、伐採しようとするとう頭上に先端が折れて落ちてきたり、注意しながらの作業であった。途中休憩の時に地主さんからの差し入れで一息つくことができた。予定していた作業は残ってしまったが、次回6月にも同様の作業を予定したいと思っている。

〈No. 522 岡田豊国 東松山市〉



■5月19日(日)くるみ小屋での活動

第22回くるみ小屋記念日の充実した一日

2000年に着工したくるみ小屋は2002年に竣工。その後テラスやベランダ、ツリーハウスなど増設し、ますます魅力的な小屋になっています。毎年5月の活動日はくるみ小屋記念日として様々なイベントを企画しサポーターや地元との交流を行っています。今年5月19日に第22回くるみ小屋記念日を迎え、野原さんと田山さんを講師に①玉ねぎの皮染め、②木の葉のたたき染め、③樹齢350年の杉材のアクセサリー作りを、昼食は鹿肉きのこカレーと持寄り料理のランチパーティー、じゃんけんぽん大会もあり、中身の濃い充実した記念日となりました。

〈No.82 香取由美 川口市〉



■5月25日(土)小川町「鷹ノ巣の森」

毎度毎度おなじみの竹刈&篠刈です。竹も篠も時期的に出始めなのでモノはまだ小さく柔らかく、刈るなら今!この時期に刈っておけば後が楽!になるかと思えます。さて、サポータークラブで手入れをしている森の隣の森(所有者が違う)ではしばらく手入れはされていない状況にあり、竹や篠が密集して蔓延り森の中の様子はうかがえず人も入っていけない状態になっています。ここ「鷹ノ巣の森」は竹や篠に囲まれた中にあるので、手入れをしなくなると今まで植え育ててきた広葉樹の森もいつしか竹や篠の森に変わってしまうのかな?といったことが頭をよぎります。 〈No. 30 木島浩 寄居町〉



「道の左側はクラブ活動地、右側は隣の森」

■6月15日(土)「第75回全国植樹祭1年前記念イベント」

来春の全国植樹祭に向けて1年前記念イベントが越谷市のイオンレイクタウンで



開催されました。10時20分から大野知事、北堀秩父市長などが参加し感謝状贈呈・記念植樹・全国植樹祭のシンボルの木製地球儀を県内市町村で巡回展示するためその第1歩として越谷市長へ渡されるなどの式典が行われました。そして、25団体が建物内の各広場で展示や体験などでイベントを盛り上げました。当クラブでは、日頃の活動のパネル展示・パンフレットや会報の配布、木の実や木材を使ったオブジェ作りの体験などを実施しました。どんぐり等でのトトロの置物作りには子供達が一生懸命取り組んでいました。また、当クラブの活動に興味を持つ方々に参加を呼びかけ、大学生のグループが体験したいとの意向を伺う事ができました。来春の全国植樹祭を成功させたいと改めて思った1日でした。 〈No. 719 玉熊英一 さいたま市〉

越生ふれあいの里山活動（越生町）

4月・5月活動は5月18日に実施予定の、オークネット間伐体験支援準備作業を行いました。2023年7月から半年間さくら公園隣接の越生D地区を除伐・間伐を行い整備してまいりました。駐車場から散策路を通りフィールドを見上げると、かなり先まで見通すことが出来るようになり明るい山とすることが出来ました。半年前は鬱蒼とし見通しがきかず、地形もどのような起伏なのかもわからない状態でした。その場所でオークネット間伐体験を実施するための準備として除伐作業を実施。続いて5月12日に、間伐体験対象木への仮ロープ掛けと進入路整備を実施し、間伐体験者の受け入れ最終準備を終わらせました。6月からはA地区・C地区・D地区の接するエリアへ異動し活動予定です。

除伐・間伐を中心に活動して、山を明るくきれいにしていく活動を継続してまいります。

〈越生ふれあいの里山担当 No.784 平井崇詞 狭山市〉



緑の森活動（入間市 緑の森博物館）

■令和6年3月24日（日）所沢地区人工林の間伐・除伐=動力班10名、手作業班6名が参加し、動力班は3班に分かれ作業区域が重ならないよう配置した。手作業班は狭山湖周遊道路際の大きな落ち枝の片付けや灌木、雑草を除伐し、見通しが良くなるよう林床を整備した。全体で20数本を伐採し林内は大分明るくなった。

■令和6年4月28日（日）下草刈りと活動地巡回

春の下草刈り作業を開始した。体験参加者1名を含め21名の参加があった。活動地区は以前サクラの記念植樹を行った雑木林広場周辺として、刈払い機の威力を発揮して広い範囲の下草刈りを進めることが出来た。作業終了後、全員で園内を巡回し、大木を育てる夢を持つ楽しみがあるのではと感じたようである。お疲れさまでした。有難うございます。



園内を巡回し、見事な大木を眺める

■令和6年5月26日（日）下草刈り

動力班7名、手作業班4名の参加で、従来から継続している茶畑上側のドングリ植樹地周辺の下草刈りをおこなった。アズマネザサの繁茂している部分は散策路から奥の部分まで刈り払った。落ち枝が多かったため、枝の片付けを優先し、枯損木の伐採、下枝の剪定や片付けを行った。

〈緑の森博物館担当 No.768 武藤光盛 所沢市〉

ときがわの森活動（ときがわ町）

■3月10日（日）参加者16名

エリア内で最も急な箇所を枝打ちをしました。樹に登っての作業は他と変わらないのだけど、落とす枝がコロコロ斜面を下ってゆき、そこに到達するのに大変苦勞・体力消耗しました。間伐はエリア上部と下部に分かれて始めました。

■4月7日（日）参加者13名

枝打ち作業は、飽きられてしまったのか3名でしたが、稜線部分の作業しやすいところ。かなり捗りました。間伐は2班に分かれ継続。

■5月5日（日）参加者14名

手鋸による伐木実習。受講者4名、先生4名で行いました。

今後の予定=今の調子で、枝打ちと間伐を並行してゆくと、間伐は伐りすぎになってしまうそうです。枝打ちをしない春～初秋は、夏1回の除伐を除き、活動はお休みにします。また、今迄エントリーされる方の参加区分をできる限り尊重してきましたが、限界。秋～初春は動力でエントリーの半分の方々を、カワリバンコに。枝打ち作業に回っていただきたいと思っています。

〈ときがわの森担当 No.790 山根義之 朝霞市〉

シリーズ 薪ストーブの魅力と暮らし

第45話『二宮金次郎』

二宮金次郎というと、薪を背負いながら本を読んでいる姿が一番に想像されるものと思います。その姿も、昔であれば働きながら勉学に励む勤労少年として褒め称えられていたものの、現在では「歩きながら本を読むのは危険」「歩きスマホを肯定しかねない」「子供が働く姿は教育方針にそぐわない」などの理由から学校から像が撤去されたり、あるいは薪を脇に降ろして座って本を読む姿の像に変わったりしているそうです。自分が子供の頃には世の中の的にもそんな否定的な見方は無かったと思いますが、今考えれば「なるほど確かにそうだな」と時代の変化を実感します。ただ薪ストーブユーザー的には、薪の作業の苦労は身をもって知るところであり、それをやり遂げながら勉学に励む姿はやはり尊敬の念に堪えません。

〈No. 30

木島 浩 寄居町〉

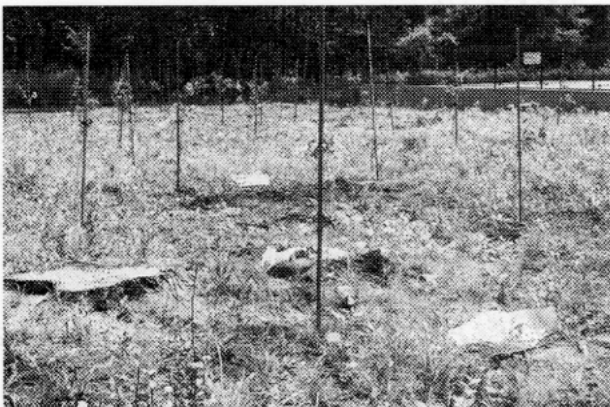


予定外活動

6月1日（土）三芳町江戸屋弘東園での植樹活動実施

ナラ枯れの為皆伐した雑木林にコナラ165本を植樹しました。16名の参加で2時間ほどで作業を終える事が出来ました。今後苗がどんな成長を見せてくれるのか楽しみです。

〈No. 654 沢田 正 川越市〉



森林の雑学

—神が宿る？おむすび—

今回は森林とは直接関係のないような話ですが、日本人と森林に関する話です。

「おにぎり」と「おむすび」は、共にご飯を握った日本の食べ物を指す言葉です。現在の日本においては地域によってこれらの名称の使い分けがあるようです。具体的には、東日本では「おむすび」が、西日本では「おにぎり」として呼ばれることが多い傾向にあるようです。どちらの言葉を使うかは、その人の出身地域や育った環境によって異なることが多いようです。

「おにぎり」という呼び名は、動作に由来していると考えられます。「ご飯を握る」という動作から名づけられました。

「おむすび」という呼び名は、おにぎりのことを御所の女御（にようご）言葉で「おむすび」と言ったことがはじまりという説があります。

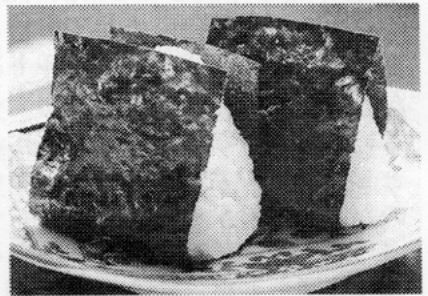
また、神話に登場する高御産巢日神（たかみむすびのかみ）、神産巢日神（かみむすびのかみ）の名に含まれる「産巢日（むすび）」、これは天地万物を生み出す神霊、またはその霊妙な力のことを指すが、その力を宿す食べ物が「おむすび」だと言われていました。

さらに、「おむすび」と呼ばれるには満たされなければならない厳密な条件があります。まず形は三角形。これは神が降臨する三角形の山の形・神南備型（かむなびやま）を現しています。

山の恵みである水に育まれた里の恵み・お米を炊いて、人の手で神宿る山の形に結び、海の恵みである塩で清めたものでなくてはなりません。さらに、赤い太陽の似姿でもある梅干を宿し、海の神の衣にも使われる海苔で包んで完成される。神の力のこもるありがたい食べ物、それが「おむすび」なのです。これほど神秘的な食べ物もそうはないだろうと思われます。

日本人と森林の関係を考える上で、とても興味深いと思われます。日々の生活の中で三角形の「おむすび」を食べるときは森林を思い浮かべてください。

〈No. 660 小室正人 さいたま市〉



◇ 令和6年度会費納入のお願い

会費納入を下記の郵便振込にお願いします。

口座番号 00120=2=407239

加入者名 NPO法人埼玉森林サポータークラブ

年会費 3千円

◇ 熱中症に注意して活動参加へのお願い

今年も暑い時期を迎えています。予防には、まめな水分・塩分補給、日陰での休憩等が必要です。熱中症には十分注意していただき、体調の管理に万全を期して活動参加をお願いします。

◇No.417折原雄一様宅に樹木資料室

自宅に樹木資料室を設置された旨連絡がありました。

見学時間 土曜日・日曜日 10:00～16:00

住 所 久喜市吉羽3丁目2-17

電 話 0480-21-3327

【森林の話 森林の誕生】

46億年前に地球が誕生してから、初めて森ができたのは4億年ほど前だといわれています。細胞を持つ生物が誕生したのが30億年前、光合成を行う生物の誕生が27億年前といわれていますので、20億年以上もの間、海の中で酸素を合成し、大気中の酸素を長い年月をかけて増加させました。そして、上空に昇った酸素は紫外線と反応してオゾンを生成し、10億年前に成層圏にオゾン層ができました。オゾン層は太陽からの紫外線を吸収し、陸上生物にとって安全な場所となりました。そして、5～4億年にコケ・シダ植物が海から上陸しました。その後、地上に移った植物は3億8000万年前（古生代デボン紀）に、アーキオプテリスといわれる「樹木」を誕生させます。高さは20メートルあったといわれています。アーキオプテリスは競争相手がなくはじめて森林を作りました。そして、石炭紀にはまだ木材腐朽菌（きのこ類）がないため、倒木が化石となり石炭をつくりました。

その後、木材腐朽菌が倒木を分解するようになり、微生物の活性化を促し栄養分に富んだ有機物を大量に創り出していきます。木材腐朽菌は、分解がむずかしいリグニン（木材を支える接着剤の役割を持つ）を分解します。その結果、川に栄養分を送り出すことになりました。こうして地表は徐々に生命にとっても住みやすい環境に変わりました。動物も上陸し、生命が陸上で繁栄していきます。私たちが今生活できるのは、森林ができたからであるといえます。

その後、植物が進化を遂げ3億年前に裸子植物が誕生し、セコイア（スギ科）などの針葉樹（裸子植物）が全盛を迎えます。そして、花を咲かせ果実となる広葉樹（被子植物）が1億3000万年前に誕生します。この果実が種子の運び手である昆虫や鳥類、爬虫類、哺乳類との共生を進めます。そして豊かな森林生態系を生み出していきます。その結果、私たち人類を含む全ての生命は、森林の恩恵で陸上で進化することができました。現在も多くの生命は、森林と共生しながら生きています。

さて、私たちが森林から得ているものは木材だけではありません。樹木の作り出す成分・キノコやカビの菌類を利用した「薬」も数多くあります。また、醸造やパンやお菓子づくりに利用される酵母も多くは森林の樹皮や土壌から採ったものです。キノコ類のリグリンを分解する性質を利用して、似たような分子構造を持つ有害物質の無害化に役立てようとしています。

これからもいろいろな可能性を秘めている森林を大事に育てていきたいものです。

〈No.719玉熊英一 さいたま市〉

■入会のご案内

私たちの活動は、多くの人々のご協力によって支えられています。ご賛同・ご支援を宜しくお願いします。

- ・入会金：個人 2,000円／団体 10,000円
- ・年会費：個人 3,000円／団体 10,000円
- ・賛助会員：年会費一口 5,000円

編集後記

能登の大震災からももう六ヶ月。何かの縁でボランティアに参加して参りました。復旧は遅々として進んでいません。台湾の地震の対応の速さは何だったのか？クラブの活動も暑い暑い夏場を向かえます。会員の高齢化に伴い体調管理に特に留意し、兎に角「無理をしない」の一言です。能登も同じなのですが、人力のなんと虚しいことか。しかし、力強いことか。カメの歩みではあるが着実に前進しています。そして、仲間とのコミュニケーション。自然・森とのコミュニケーション。これが最大。

（No.706 藤井俊文 川越市）



能登で他の団体とボランティア活動するクラブ員

活動スケジュール (2024年7月・8月・9月・10月)

月日	曜日	フィールド	活動内容	集合場所
7月6日	土	笠幡の森	竹林整備(手) 枝条整理、機) 竹刈り	川越市笠幡1953 林内通路脇
7月7日	日	カタクリの里	下草刈り(手)、機) 共	神泉カタクリの里 グーグルマップ検索
7月14日	日	越生ふれあいの里山	間伐・除伐(手)、機) 共	虚空蔵尊 越生町上野2260先を右折 さくら公園駐車場
7月20日	土	寄居風布の森	間伐(手)、機) 共	林道葉原峠線防火水槽脇の広場
7月21日	日	くるみ小屋	水道メンテナンス等	神川町上阿久原 くるみ小屋
7月28日	日	緑の森博物館	下草刈り(手)、機) 共	入間市宮寺889-1 緑の森博物館
8月4日	日	ときがわの森	手) 除伐・間伐	ときがわ町西平 越瀬橋 手前 左側
8月18日	日	くるみ小屋	下草刈り(手)、機) 共	神川町上阿久原 くるみ小屋
9月1日	日	カタクリの里	下草刈り(手)、機) 共	神泉カタクリの里 グーグルマップ検索
9月7日	土	宝登山の森	下草刈り(手)、機) 共	宝登山ロープウェイ駐車場の下(旧町民プール)
9月8日	日	越生ふれあい里山	間伐・除伐(手)、機) 共	虚空蔵尊 越生町上野2260先を右折 さくら公園駐車場
9月14日	土	寄居風布の森	間伐(手)、機) 共	林道葉原峠線防火水槽脇の広場
9月15日	日	くるみ小屋	下草刈り(手)、機) 共	神川町上阿久原 くるみ小屋
9月15日	日	高谷の森	下草刈り(手) 刈り・苗木固定、機) 下草刈り	小川町大字高谷2737-5
9月21日	土	笠幡の森	笹刈り(手) 枝条整理、機) 笹刈り	川越市笠幡1953 林内通路脇
9月22日	日	緑の森博物館	下草刈り(手)、機) 共	入間市宮寺889-1 緑の森博物館
9月29日	日	鴻巣・赤城屋敷林	下草刈り(機) 下草刈り	鴻巣市赤城765
10月5日	土	寄居風布の森	間伐(手)、機) 共	林道葉原峠線防火水槽脇の広場
10月6日	日	ときがわの森	手) 伐木研修、機) 間伐	ときがわ町西平 越瀬橋 手前 左側
10月12日	土	笠幡の森	手) 枝条整理、機) 笹刈り・枯損木処理等	川越市笠幡1953 林内通路脇
10月13日	日	越生ふれあいの里山	間伐・除伐(手)、機) 共	虚空蔵尊 越生町上野2260先を右折 さくら公園駐車場
10月19日	土	越生ふれあいの里山	オークネット活動支援	虚空蔵尊 越生町上野2260先を右折 さくら公園駐車場
10月20日	日	くるみ小屋	下草刈り(手)、機) 共	神川町上阿久原 くるみ小屋
10月26日	土	桶川・加納屋敷林	林内整理(手) 竹林間伐、機) 下草刈り	桶川市加納436
10月27日	日	緑の森博物館	下草刈り(手)、機) 共	入間市宮寺889-1 緑の森博物館

※活動予定は、中止や変更することがあります。その節は一斉メールにてお知らせいたします。締め切り後に参加する時や、申込んだが当日欠席する時は事務局まで連絡を！直前の当日欠席は世話役まで連絡を！
 ※集合時間は8時30分です。支度をして集合して下さい。

拠点フィールドのご案内

- ときがわの森 (ときがわ町)
 - 毎月第1日曜日活動 (担当: 山根義之・岡田豊国)
- 越生ふれあいの里山 (越生町)
 - 毎月第2日曜日活動 (担当: 平井崇詞・鈴木久代・樽石亜由美・菊池修一郎)
- 緑の森博物館 (入間市)
 - 毎月第4日曜日活動 (担当: 武藤光盛・岡田 了)

埼玉森林サポータークラブ・コミュニケーション・ニュース 2024年7月1日発行 (年4回発行)

- 発行: 特定非営利活動法人 (NPO法人) 埼玉森林サポータークラブ
- 発行責任者: 霜触 賢 ■編集リーダー: 沢田 正
- 編集スタッフ: 木島 浩・北村 博・梶田 力・小室 正人・利根川雅実・香取由美・樽石亜由美・菅家征史・小坂博美・伊東喜尋・片野健一・菅谷 榮・岡田豊国・平井崇詞・藤井俊文・玉熊英一
- 事務局: 〒330-0063埼玉県さいたま市浦和区高砂3-12-9 農林会館B1 TEL. 048-814-2770
 <事務局開設日: 月・水・金> 10時~15時
- 事務局メールアドレス
info@shinrin-supporter.org
- ホームページアドレス
<http://www.shinrin-supporter.org/>